

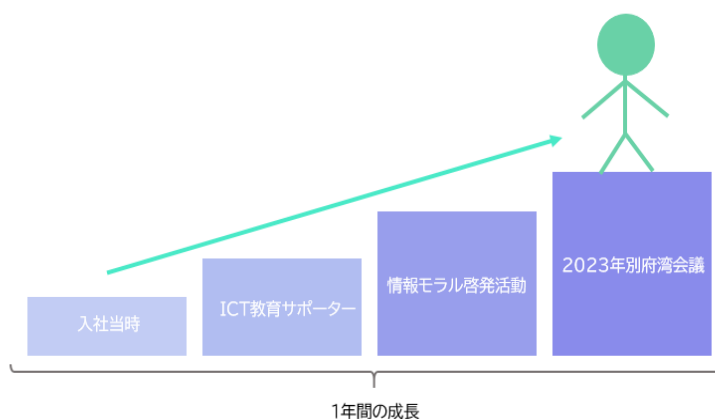
2024年4月カレンダーレポート

4月が終わり、雨が続いたために桜は早々に散ってしまった。そんな新年度を迎えた私は、社会人として新たなスタートを切った人たちと出会いすれ違った。通勤時の電車の中や歩いている時間、彼らの顔には新たな人生への希望や将来への漠然とした不安が見て取れた。そのような人たちを見るたびに1年前の自分の姿を思い出した。未来への可能性や緊張など様々な感情を抱えた社会人としての1日目。着慣れないスーツに身を包み、履きなれないヒールで足を痛めながら入社を迎えたのは、苦いが忘れられないスタートだった。

そんなことを思い出しながら1年先輩だからと心の中で彼らにエールを送る。でも正直、自分がこの1年でそんなに成長できたのかと疑問に思うが、周りの多くの人から「成長したね!」と言われるようになったことが浮かんで、少しだけ自信を持つことができているのも事実だ。そして、成長には限りがなく、さらなる高みを目指すべきであることも、この1年を通して学んだことだ。私は高校生から社会人へと1歩進んだに過ぎない。2歩目、3歩目と社会人としてもっと高みにいけるように、努力を重ねていきたいと思う。

たぶん職場が研究所だからか、私は多くの経験を積んだのではないだろうか。教育ICTサポーター運営事業では、人との関わり方を学んだ。サポーターとして学校訪問し、多くの先生方と会話することでコミュニケーションスキルも磨いた。また、情報モラル普及啓発事業では、全国で中小企業の方々に向けたセミナーを開催した。高校時代から情報モラルにとっても興味があったため、担当できたのが凄く嬉しかった。この事業活動では、人と情報とモラルの重要性を実感できた。さらに、当研究所にとって非常に重要な別府湾会議会議の担当になった時は緊張した。でも先輩方のおかげで何とか乗り越えることができた。

これらのいろいろな経験を通じては、多くの反省点があった。その中で最も大きなものは、受け身になりがちだったことだ。先ほどの別府湾会議でも特に感じたことだけれど、何事も一歩引いていることが多かったように思う。自分から積極的に行動することができた場面がもっとあったはずだ。なので、今年度の私の目標は「受け身にならないこと!」にする。先輩方に全てを任せてしまう訳にはいかない。1年目で学んだことや経験を活かして、自ら考えて行動ができるようにする。そして来年の桜の季節には、人から言われるだけでなく自分自身でも成長したと胸を張れるように、2年目の活動を充実させていきたい!



(文・挿絵：有廣美優)